

ふれあいネットワーク

# 社協 まつもと

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000  
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239  
E-mail:syakyoum@avis.ne.jp http://www.avis.ne.jp/~syakyoum/



交通安全協会の高齢者疑似体験

人は人の心で生かされる

— 優しさを抱えて在宅への支援を運ぶ —

なにも贅沢を言っつもりはないのだが、  
長年生活してきた自分の家だもの、  
せめて自分の思うように、  
この家で生きていきたい。  
誰もが願う、当たり前のこと…。

社会福祉協議会は長年の実績を踏まえて、  
在宅の方のための支援を進めています。  
疑似体験で相手の気持ちを思い、講習会  
で介護技能を身に付けるなどして、在宅介  
護者への支援の手を差し伸べています。

- ・在宅介護支援について……2P
- ・福祉・ボランティア団体の紹介…3P
- ・社協福祉協議会とは②……3P
- ・チャレンジ町会福祉……4P
- ・ふくしかわらばん……4P

平成16年 No.160

7月15日号

# 気軽に相談・ご利用を

## 社協の在宅介護支援

病気やケガをしないで長寿を全うしたい——これは誰もが願うことですが、加齢にともない様々な要介護問題が表れてきます。松本市社会福祉協議会（社協）では、いろいろな在宅介護支援を行っています。

お気軽にご相談、ご利用下さい。（☎27-3381）

### 在宅介護者の集い

「在宅介護者の集い」は県下に先駆けて、平成元年より市社協が独自に始めました。その後、平成4年より市の受託事業として介護者の心身のリフレッシュや仲間づくり、あるいは福祉情報などの介護をめぐる様々な課題に応えるため、実施してきました。年4回の集いでは県内外へのバス旅行や視覚障害者福祉協会の協力を得てのマッサージ支援など、多彩な内容で開催しています。

また各地区社協や地区福祉ひろば、市民生児童委員協議会などで「地域版の介護者の集い」が活発に実施されています。

### 介護者の意識や悩み（アンケート調査より）

- ・自分が病気になったときに、一番困る
- ・ほかの人に介護されることを望まない
- ・一日留守をすることができない
- ・心身が疲れたり、ストレスが溜まる
- ・足、腰、肩、脊髄が痛く、高血圧である
- ・雨や寒い日は洗濯に困る



### 訪問介護・訪問入浴事業

この事業は昭和31年に遡り、長野県と市町村が在宅福祉対策として社会福祉協議会に委託した家庭養護婦派遣事業に始まります。その後、老人福祉法による家庭奉仕員の派遣、そして平成12年の介護保険による訪問介護（ホームヘルパー）や訪問入浴と発展してきました。

介護保険導入後、社協では利用者本位のサービスの質を一層高めることを目指しています。

### 在宅介護支援センター

松本市内には13の在宅介護支援センターがあり、介護の相談や支援をしています。

社協では市から受託し、松本南・第三・庄内・島内・和田・笹賀・岡田の7ヵ所を運営しており、年間の介護相談や介護予防等の相談件数は1万6千件を超えています。

松本市基幹在宅介護支援センター	☎39-1165
松本市松本南在宅介護支援センター	☎25-3895
松本市寿在宅介護支援センター	☎57-7250
松本西在宅介護支援センター	☎39-1391
松本協立在宅介護支援センター	☎35-6454
松本市里山辺在宅介護支援センター	☎39-2255
松本市城山在宅介護支援センター	☎39-3551
松本市第三在宅介護支援センター	☎32-8265
松本市庄内在宅介護支援センター	☎27-8165
松本市島内在宅介護支援センター	☎47-5865
松本市和田在宅介護支援センター	☎40-4165
松本市笹賀在宅介護支援センター	☎86-3865
松本市岡田在宅介護支援センター	☎45-5365



### ホームヘルパー2級養成講座

市社協では在宅福祉を支える人材の育成として、県知事の指定を受けて年2回養成講座を実施しています。1講座は150時間で医療・保健・福祉の第一線の講師を招いて実施しています。

## 福祉・ボランティア団体を紹介します

### ◆松本市聴覚障害者 社会参加支援協会

私たちの会は、聴こえない者と聴こえる者として組織しています。会員は松本聴覚障害者協会か松本手話サークルのどちらかに所属していますが、活動は全て『松本市聴覚障害者社会参加支援協会』として進めています。

- 「障害がある人もない人も気持ちよく暮らせる社会をめざそう!」を合言葉に皆が力を発揮しています。主な事業は次のとおりです。
- ①聴覚障害者生活訓練講座
  - ②中途失聴者・難聴者のコミュニケーション講習会
  - ③手話通訳・要約筆記に関する講座
  - ④手話奉仕員養成事業
  - ⑤要約筆記奉仕員養成事業

### ③手話通訳者・要約筆記養成講座等の実施

- ①聴覚障害者が安心して医療を受けられる環境作り
- ②聴覚障害者の情報保障と情報バリアフリーをめざす
- ③聴覚障害者の緊急災害時のバリアフリーをめざす

### ◆松本市 点訳赤十字奉仕団

松本市点訳赤十字奉仕団は、昭和三十三年三月に松本市で開催された点字習得講習会がその出発点です。以来、約半世紀にわたり視覚障害者の文化向上に寄与

するために、点訳活動を地道に進めてまいりました。現在、会員は三十余名ですが、点字を必要とする障害者の方々のニーズに 대응するため、月に二回、総合社会福祉センターで点訳技術のレベルアップや情報交換を行っています。

以前は手でコツコツと打っていましたが、最近では点訳もパソコンを使用する時代になりました。

講習会に参加して、私たちと一緒に活動しませんか、お待ちしております。

(丸山ちなみ)



## 社会福祉協議会とは②

## 多彩な地域福祉活動

最近、社会福祉関係では頻繁に「地域福祉」という言葉が登場します。地域福祉は、社会福祉全ての法律の基本理念として、その推進を図ることがうたわれています。

今回は松本市社会福祉協議会（社協）が行う主な地域福祉活動を紹介いたします。

③見守り安心ネットワーク  
平成十一年度より、松本市や市民生児童委員協議会と共に要援護者おおよそ六千人を把握し、その一割の人たちの同意を得て、小地域での見守り安心ネットワーク事業を展開しています。

- ①社協全ての活動で目指すものが地域福祉
- ・全市の活動と三〇地区社協、三三五の分会（町会）が連携して活動を実施
- ・町会福祉モデル事業や地区社協総合助成事業を通じて地域づくりを実施
- ②ボランティア活動の発展

社協には二七九グループ、四万二千人が登録され、地域や施設などで多様な活動を展開しています。三〇地区のうち二七地区にボランティア部が設置され、雪かき、ゴミ出し、見守りなどの活動や、福祉ひろばや施設において活動をひろめています。

④ふれあい会食会  
超高齢社会に入り、ひとり暮らしや高齢者世帯、または要援護世帯が増加する一方です。ひとり暮らし老人を地域で支え合い、ふれあい、自立を支援するために、松本市の協力のもと全地区で年間延べ一万人が参加した「ふれあい会食会」を実施しています。



ふ く し ・ ま ゃ り ば ん

### 社協会費納入のお願い

毎年7月は社協会費の納入月です

社協は市民による市民のための福祉団体です。運営は市民のみなさんからの「会費」「共同募金」や県・市の補助金、委託料などでまかなわれて、さまざまな福祉事業を行っています。

皆さんから納入していただいた「会費」は社協の行う福祉事業の財源となりますので、納入にご協力ください。

#### 社協会費の種類



一般家庭

世帯会費  
年額 300円

・市内の全世帯にお願いするものです。



施設・団体

施設・団体費  
年額 2,000円

・福祉施設・団体等にお願いするものです。



個人

特別会費  
年額 1口  
1,000円以上

・社協事業に賛同してくださる個人にお願いするものです。



会社・法人

賛助会費  
年額 1口  
10,000円以上

・社協事業に賛同してくださる法人・会社等にお願いするものです。

### ナイスシニア信州ねんりんピック

- ☆文化イベント 9月15日(水) 午前10時  
塩尻市レザンホール 講師：永山久夫氏
- ☆美術展(作品展) 9月15日(水)～17日(金)  
塩尻市総合文化センター 要事前申込み
- ☆文化交流大会 9月15日(水) 午前9時30分  
塩尻市総合文化センター 囲碁・将棋
- ☆スポーツ交流大会 9月16日(木) 要事前申込み  
信州スカイパーク、松本市笹賀公民館
- ◆問い合わせ 助長野県長寿社会開発センター  
(☎026-226-3741)

### 総合社会福祉センター夏まつり

総合社会福祉センターを利用する皆さんや、ボランティアの方、地域の皆さんが集まって夏のひとときを楽しみ交流します。どうぞご来場ください。

- ◆日時 8月4日(水) 午後5時45分～8時
- ◆会場 総合社会福祉センター前庭
- ◆内容 ステージ鑑賞：がらくた座の人形劇、とりのはねスーパーバンド  
施設の展示即売と出店：綿あめ、輪投げ、水ヨーヨー、大ジャンケン大会(景品付)等
- ◆問い合わせ 総合社会福祉センター (☎25-3133)

### 心身障害児の親子バス旅行

今年も心身障害児激励行事として、親子バス旅行を下記の日程で行います。親子や仲間同士で楽しいひとときを過ごし、心と体のリフレッシュを図りましょう。

- ◆日時 8月11日(水) 午前8時
- ◆目的地 蓼科アミューズメント水族館
- ◆募集定員 約50名(先着順)
- ◆参加費 1人1,000円(昼食代・入園料)
- ◆締め切り 8月2日(月)まで
- ◆申し込み 松本市社会福祉協議会  
地域福祉課(☎27-3381)

氏名、住所、メールアドレスを記載の上、下記アドレスまでE-mailにて

■情報料 無料

## メルマガ会員募集

(携帯電話には対応できません)

E-mail:syakyoum@avis.ne.jp

地区としての行事は年間を通じてありますが、参加される方が限定されているので、町会独自に身近なみんなが参加できる

「餅つき・豚汁の会」を企画しました。

去に役員をされてきた諸先輩方は町会をまとめられるのに大変な苦労をされたことを感じます。平成十五年度の地区社協第七分会の行事を何かやろうと思いい、十一月二十三日の勤労感謝の日

松本でも小さな町会です。発足から十余年が経過し、過去に役員をされてきた諸先輩方は町会をまとめられるのに大変な苦労をされたことを感じます。

松本でも小さな町会です。発足から十余年が経過し、過去に役員をされてきた諸先輩方は町会をまとめられるのに大変な苦労をされたことを感じます。

松本でも小さな町会です。発足から十余年が経過し、過去に役員をされてきた諸先輩方は町会をまとめられるのに大変な苦労をされたことを感じます。



この行事は今後も続けていく予定です。  
(町会長 堀 幸二)

当日は、十三人の組長を中心に役員を加えて、餅つきと豚汁の二つのグループに分かれて始めました。町会内に声をかけて回った結果、大人七十名、子ども四十名の参加者があり、盛大に行われました。

餅つき大会は初めての試みでもありましたが、幸いなことに臼や杵、蒸し器などを持っておられる方からお借りすることができ、道具を整えることができました。

行事を取り入れました。目標は隣近所最小単位でのコミュニケーションの場づくりです。例えば、餅つきは子どもたちが大人になったときの故郷の思い出に、また、慰労会はお年寄りに声をかけ、大人の一人一人に参加を呼びかける行事にしました。

行事を取り入れました。目標は隣近所最小単位でのコミュニケーションの場づくりです。例えば、餅つきは子どもたちが大人になったときの故郷の思い出に、また、慰労会はお年寄りに声をかけ、大人の一人一人に参加を呼びかける行事にしました。

行事を取り入れました。目標は隣近所最小単位でのコミュニケーションの場づくりです。例えば、餅つきは子どもたちが大人になったときの故郷の思い出に、また、慰労会はお年寄りに声をかけ、大人の一人一人に参加を呼びかける行事にしました。

行事を取り入れました。目標は隣近所最小単位でのコミュニケーションの場づくりです。例えば、餅つきは子どもたちが大人になったときの故郷の思い出に、また、慰労会はお年寄りに声をかけ、大人の一人一人に参加を呼びかける行事にしました。